

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

2/19 館山支部3回定期大会 成功

自信と確信をもって
2次反合運動保安闘争の中軸を担う...

館山支部第3回定期大会は、2月19日13時より、館山運転区講習室において開催された。動労「本部」革マル反動分子による理不尽な暴力的破壊オルグに対し組合員がうって一九となつて粉碎し昨年4月19日支部結成をもちとってきた館山支部は、現在、国鉄35万人体制粉碎の先制的闘いとして第2次反合・運動保安闘争を闘い抜いている。そして反戦・反基地・反安保闘争として闘われた2・16リムバック反対館山集会には、支部最大限動員をもって闘い抜き、組織内のみならず、安房地区労の中軸として運動を活発に展開している。

35万人体制粉碎・組織強化のために頑張り抜く！
――佐久間支部長あいさつ――

大会は、支部執行部、代議員、傍聴者が続々と結集し、70名という圧倒的参加をもちとる中で始められた。

小山副支部長の開会挨拶をもって開始された大会は、議長に乗務員分科選出の山口代議員が選出された。冒頭、佐久間支部長より、「動労千葉の基本方針を踏まえ、国鉄35万人体制粉碎、組織強化のため、がんばり抜きたい」との決意・挨拶が述べられた。続いて本部闘争委員会を代表して、山口執行委員より情勢報告と本部闘争委員会の決意が述べられ、議事に入っていた。

一般経過報告、決算報告、会計監査報告がそれぞれ執行部より提案がされ、若干の質疑応答を行い、満場一致で承認された。その後運動方針案、予算案についての提案が行われた。

活発な討論展開

おりからの降雪のため、遅れて参加した本部中野書記長を含めて質疑討論に入っていた。質疑討論の中で出された意見は主につぎの内容であった。

- ☆佐倉、銚子支部結成に向けた取組みについて。
 - ☆非協力闘争時における問題点。
 - ☆運動保安闘争についての支部間の戦術調整。
 - ☆津田沼支部への処分攻撃に対する怒り。
 - ☆組合費返還請求に対する取組み。
 - ☆三里塚ジェット闘争について。
 - ☆職群、是正、回復についての取組み。
 - ☆年金改悪と高齢者対策。
- 以上を中心とする質疑に対し、本部・支部執行部がそれぞれ答弁を行い、参加者全体の拍手で運動方針等が確認された。

第2次反合・運動保安闘争の更なる強化を

館山支部は、千葉運転区支部とともに、1月18

日以降内房線を中心とする第2次反合・運動保安闘争を1ヶ月にわたって一糸乱れず闘い抜いていく。連日、内房線各列車5〜10分の遅れを現出する闘いは、当局をして内房線の線路荒廃の実態を認識させ、対策を講ぜざるをえないところまで追いこんでいる。こうした闘いの貫徹こそ、国鉄35万人体制粉碎へむけた先制的闘いとしての第2次反合・運動保安闘争の意義が全組合員に定着化されたなによりものあらわれであり、大会を成功させた原動力である。更に、第2次反合・運動保安闘争を強化し、80春闘勝利、35万人体制粉碎へむけ奮闘しよう。

一九七九年度 年度末手当の支払いを要求！

- 動労千葉は、2月18日申第3号をもって「一九七九年度年度末手当の支払いに関する申入れ」を行った。申し入れ事項は左記の通りである。
1. 職員及び準職員については、支払い日現在の基準内賃金の1ヶ月分を支払うこと。
 2. 支払いは現在減給、停職、休職中の者については、減額されない額により支払うこと。
 3. 臨時雇用員については、支払日現在の賃金額の25日分を支払うこと。
 4. 支払い日は、一九八〇年三月十五日とする。

以上

訂正

「労働運動の新しい潮流を」の見出しの『日刊』2月21日付・三五六号の日付・号数が誤っておりしました。
正しくは、2月22日付三五七号です。おわびして訂正いたします。